

## 平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果〈学力編〉

平成29年度の「全国学力・学習状況調査」が、4月18日(火)に全国の小学校6年生と中学校3年生を対象として実施され、その結果が8月下旬に学校に届けられました。本調査は下記のような目的で実施されます。

- ◇ 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇ 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇ そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

そこで、和木中学校の状況をご家庭にお知らせします。学校としては、本調査の結果により、生徒の学力や生活の実態を把握・分析することで、日々の教育実践を振り返り、改善を図りたいと思います。その際に、ご家庭にもご協力をいただき、生徒の確かな学力の定着を目指して取り組んでいきたいと考えています。

### (1) 山口県全体の結果

- 小学校では、区分によって差はあるものの、概ね全国平均と同程度です。
- 中学校では、全ての区分で全国平均を上回っています。

### (2) 和木中学校の結果(全国・山口県の平均正答率との比較)

平成29年度から、都道府県等における各区分の平均正答率は整数値で提供されます。

教科	和木中学校の状況	山口県	全国
国語A	山口県平均と同程度	79%	72.4%
国語B	全国平均をやや下回っている	73%	72.2%
数学A	山口県平均と同程度	66%	64.6%
数学B	山口県平均を上回っている	49%	48.1%

### (3) 本校の生徒の傾向

よい傾向がみられた問題(◎)：山口県や全国を上回っている  
課題がある問題(▲)：山口県や全国を下回っている

- 問題A 主として「知識」に関する問題  
問題B 主として「活用」に関する問題

#### 【国語A】

##### 【よい傾向がみられた問題】

- ◎ 書いた文書を読み返し、語句の使い方を工夫して書く問題
- ◎ 文章の構成を工夫してわかりやすく書く問題
- ◎ 目的や意図に応じて材料を集め、自分の考えをまとめる問題
- ◎ 文章の表現の仕方について自分の考えをもつ問題
- ◎ 言語についての知識・理解・技能をみる問題

##### 【課題がある問題】

- ▲ 相手にわかりやすいように語句を選択して話す問題
- ▲ 文章のあらわれているものの見方や考え方について、交流を通して自分の考えを広くする問題

## 【国語B】

### 【よい傾向がみられた問題】

- ◎ 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する問題
- ◎ 場面の展開や登場人物などの描写に注目して読み、内容を理解する問題
- ◎ 目的に応じて必要な情報を読み取る問題

### 【課題がある問題】

- ▲ 表現の仕方について捉え、自分の考えを書く問題
- ▲ 相手の反応を踏まえながら、事実や事柄が相手にわかりやすく伝わるように工夫して話す問題
- ▲ 集めた材料を整理して文章を構成する問題
- ▲ 必要な情報を集めるための見通しを持つ問題

## 〈国語の状況〉

漢字の書き取りや読み取り、基本的な語句を用法を守って文章を書くなどの基礎・基本は定着しています。特に国語Aでは、正答率が90%を越える問題が多く、日々の漢字の書き取りや生活日記等の書く活動の成果があらわれています。自分の考えを自由に書くことに慣れており、力もついています。

しかし、条件に合わせて自分の考えを表現したり、与えられた資料の中から必要な情報を集め情報を整理した上で、自分の考えを書いたりすることができる生徒が少ないようです。

## 【数学A】

### 【よい傾向がみられた問題】

- ◎ 実生活の場面において、ある数量が正の数と負の数で表されることを理解しているかを見る問題
- ◎ 平行移動した図形をかく問題
- ◎ 与えられた比例の式について、 $x$ の値に対応する $y$ の値を求める問題
- ◎ 簡単な場合について、確率を求める問題

### 【課題がある問題】

- ▲ 扇形の弧の長さを求める問題
- ▲ 見取図に表された立方体の面上の線分の長さの関係を読み取る問題
- ▲ 関数の意味を理解しているかを見る問題
- ▲ 与えられた反比例の表において、比例定数の意味を理解しているかを見る問題
- ▲ 範囲の意味を理解しているかを見る問題

## 【数学B】

### 【よい傾向がみられた問題】

- ◎ 問題場面における考察の対象を明確に捉える問題
- ◎ 与えられたグラフから、必要な情報を適切に読み取る問題
- ◎ 資料から必要な情報を適切に読み取る問題

### 【課題がある問題】

- ▲ 2つの図形の関係を回転移動に着目して捉え、数学的な表現を用いて説明する問題
- ▲ 事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明する問題
- ▲ 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する問題
- ▲ 数学的な表現を事象に即して解釈し、的確に処理する問題
- ▲ 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題

## 〈数学の状況〉

公式にあてはめて答える問題は正答率が80%を越える高い値を示しています。また、グラフや表から必要な情報を取り出すことも多くの生徒ができています。

しかし、現実の事象を数学的に解釈して問題解決したり、問題解決の仕方を数学的な表現を用いて説明することができない生徒が多くいます。複数の資料を比較し、その傾向を読み取り、自分の考えを表現することが苦手な生徒がかなり多いようです。

次号は、生徒質問紙の結果についてお知らせしたいと思います。生徒質問紙は、生徒の学習意欲・学習方法・学習環境・家庭や地域での生活の状況に関する調査です。

## 平成29年度 全国学力・学習状況調査の結果〈生徒質問紙編〉

前号は、平成29年度の「全国学力・学習状況調査」の学力についてお知らせしましたが、今回は生徒質問紙の結果についてお知らせします。生徒質問紙は、生徒の学習意欲・学習方法・学習環境・家庭や地域での生活の状況に関する調査です。

4月時点での調査ですから、状況が変わっている項目もあるかもしれませんが、山口県や全国と比較した本校生徒の特徴を以下に示します。

### (1) 山口県全体の結果 ○：望ましい状況 ●：課題のみられる状況

- 地域の行事や地域社会などでボランティア活動に参加したりする子ども、地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある子どもの割合は全国と比べて高いです。授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があった子どもの割合も、全国と比べて高いです。
- 家で、自分で計画を立てて勉強をしている子どもの割合は、全国と比べて高いです。
- 授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思う子どもや、授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行ったと思う子どもの割合は、全国と比べて高いです。
- 平日に1時間以上携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする子どもの割合は、全国と比べて低いものの、増加傾向が見られます。
- 平日（学校の授業時間以外）や休日に1時間以上勉強をする子どもの割合は増加傾向にあるものの、2時間以上勉強する子どもの割合は、全国と比べて低いです。平日に読書をする子どもの割合は、全国と比べて高いものの、「全くしない」と回答した子どもの割合が、小学校19.9%、中学校29.5%であり、依然として高い傾向が見られます。

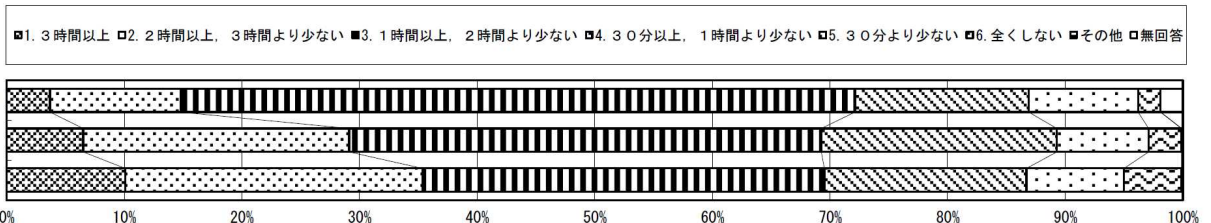
### (2) 和木中学校の結果 ◎：肯定的な回答が多い ○：肯定的な回答がやや多い ▲：課題がある

#### ① 学校の授業や家庭学習の状況

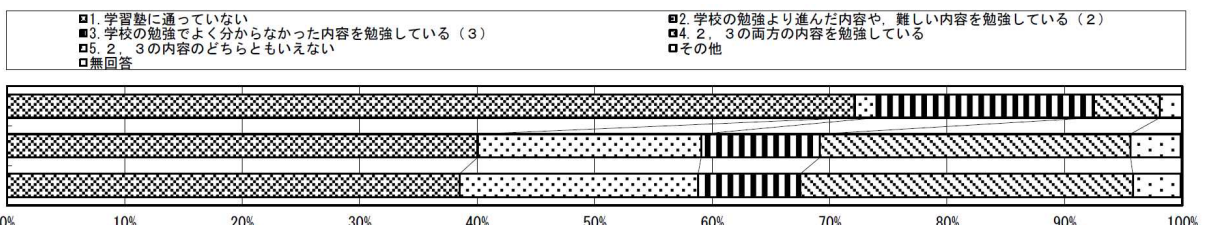
- ◎ 国語や数学の勉強は好き。〈80%前後〉
- ◎ 1・2年生のときに受けた授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていた。〈100%〉
- 授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていた。〈74%〉
- 話し合う活動を通じて、考えを深めたり広げたりする活動をよく行っていた。〈72%〉
- ◎ 家で、学校の宿題をしている。〈98%〉
- 家で予習をしている割合は低い〈37%〉。復習をしている割合はやや高い。〈69%〉

#### 学習時間等

▲ 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

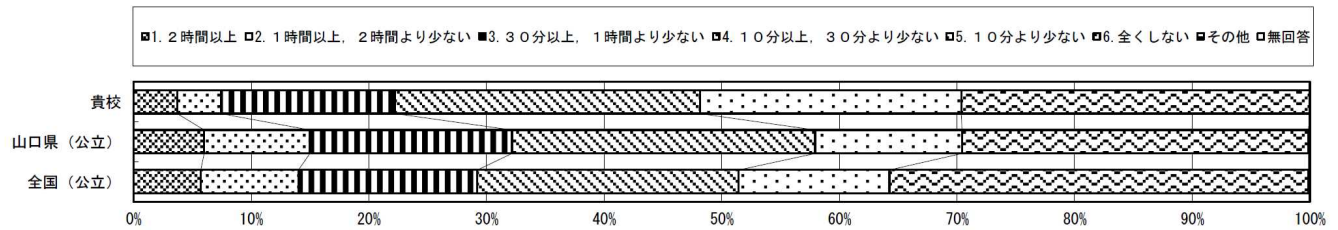


◎ 学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしていますか。





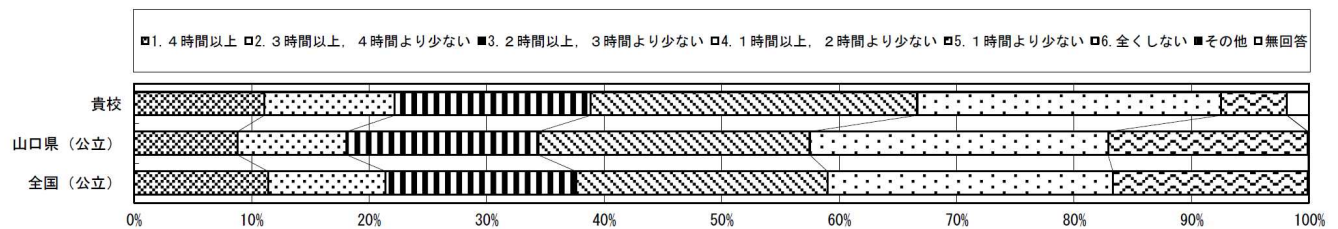
▲ 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



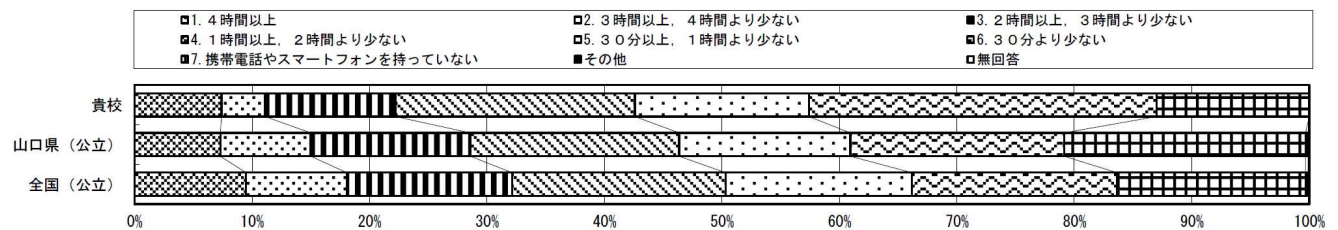
授業での学習への取組については、肯定的な回答が多く、おおむね良好です。しかし、家庭学習時間が全国や山口県に比べて短く、2時間以上している割合が少ないです。学習塾に通っていない生徒の割合が72%でかなり高いので、学力向上のためには、「自分で計画を立てて勉強する」ようにし、計画的に家庭学習に取り組めるようになることが重要です。また、新聞を「ほとんど、または、全く読まない」生徒が61.1%います。新聞をよく読む生徒は社会への興味・関心が高く、様々な文章を読む機会が多くなるので、学力が高い傾向にあります。図書室にも新聞はありますので、積極的に読んでもらいたいと思います。

② 基本的生活習慣

▲ 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピューターゲーム、携帯ゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）を読みますか。



▲ 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットを読みますか。（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）



1日2時間以上テレビゲームをする生徒の割合が多いです。また、1日2時間以上携帯やスマホでゲームやメール・インターネットをする生徒が40%以上います。携帯電話やスマホを持っていないと回答した生徒は7人で、全国や山口県と比べて所持率は高いです。ゲームや携帯・スマホの使用時間を見直して、学習習慣や生活習慣を改善していく必要があると思います。

③ 地域との関わりや社会に対する興味・関心

- ◎ 今住んでいる地域の行事に参加している。〈60%〉
- ◎ 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある。〈76%〉
- ◎ 地域社会などでボランティア活動に参加したことがある。〈65%〉

コミュニティー・スクールや地域協育ネットの取組により、地域での活動や社会への関心に肯定的な回答をした生徒の割合は高いといえます。今後、なお一層学校と地域のつながりを深め、「町ぐるみ『和木学園』」で園小中と地域が一体となって、みんなで互いに学び合えるような学校を目指していきたいです。

今年度の結果を分析・検討して、国語や数学だけでなく、本校生徒の課題を克服するために全教科で「課題解決に向けた授業改善」やICT機器を活用した「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）」による学力向上に努めていきたいです。1・2年生についても、山口県学力定着状況確認問題の結果を参考にして、学力向上に努めていきたいです。また、家庭学習の時間や方法、メディアの利用方法等の生活改善をしていきたいです。今後とも和木中学校の教育にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。